



「作家」11号、516号
(作家社)



小谷剛追悼号・終刊号



「確證」(改造社)

小谷剛 「作家」を育てた作家

作家・小谷剛は、大正13(1924)年に京都市で生まれ、6歳の時、名古屋市に転居しました。私立東海中学校を経て、名古屋帝国大学附属医学専門部(現・名古屋大学医学部)を卒業。海軍学校への進学や航空隊所属の後、市内で産婦人科医院を開業し、医師として働きながら文芸同人誌「作家」を創刊しました。

昭和24(1949)年、「作家」に掲載した小説「^{かくしう}確證」で戦後初の選定となった第21回芥川賞を受賞。その後も自身の執筆を続けながら「作家」を通じて後進を育て、先輩作家に発表の場を提供し、第53回直木賞受賞の藤井重夫や第64回直木賞受賞の豊田穰などを輩出しました。その他「作家」には、文筆家で画家の亀山巖や作家の稲垣^{たるほ}足穂なども参加しています。

今回の企画展では、小谷剛の作品や貴重な直筆原稿を展示するとともに、氏が没するまで500号以上発行された同人誌「作家」についても紹介します。

トークイベント

令和5年(2023)

6/18(日) 13:30~15:00

小谷剛の思い出や、同人誌「作家」に集まった当時の書き手などについてお話しいたします。

◆対談:「小谷剛の思い出」

山下智恵子(作家、元・同人誌「作家」同人)

稲垣友美(作家、元・同人誌「作家」同人)

◆会場:文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) ※定員:50名

◆参加方法:6月13日(火) 10:00~

文化のみち二葉館に電話申し込み

※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または変更になる場合があります。

出演者プロフィール

〈山下 智恵子〉(やました ちえこ)

名古屋大学文学部卒。20代の末、「作家」同人。婦人公論女流新人賞。井上光晴文学伝習所へ。現在「追伸」同人。著書に『幻の塔ーハウスキーパー熊沢光子の場合』『野いばら咲け』等。

〈稲垣 友美〉(いながき ともし)

1972年「作家」同人、菫とき子の名で執筆。名古屋市芸術奨励賞受賞、日本海文学大賞入選。読売新聞社、東郷町役場等で文章教室講師を経て「象」同人。著書に『永い刻』『波あふれる』。



主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

「ドニエコきっぷ」「一日乗車券」

を利用して来館の方は入館料割引!

一般200円→160円



名古屋市東区榑木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

<https://www.futabakan.jp/>



公式サイト



Instagram

交通のご案内

- なごや観光ルートバス「文化のみち二葉館」下車
 - 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
 - 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
 - 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
 - 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
- ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

